



令和6年度  
可茂地区  
学力向上  
推進にむけて

---

令和6年10月  
可茂教育事務所

# 指導と評価の一体化

学校の教育目標  
研究主題

研究内容・指導改善プラン  
(指導の工夫)

評価したことを、指導改善や学習改善に生かす  
(どのように改善に結び付けるとよいか？)

指導した結果を、具体的な児童生徒の姿で評価する  
(どれくらい「〇〇な力」が育っているのかな？)

資質・能力の育成

データを**意図的に**活用する。

▲数値の低い説問  
→自校の「課題」

○自校の「**目指す姿**」から  
自校が取り組む「**課題**」を考える

- ◎ 自己有用感
- ◎ 主体的に学ぶ意識
- ◎ 対話的に学ぶ意識
- ◎ 深い学び
- ◎ 指導と評価の一体化について

関係する設問(=データ)を選択

# データを意図的に活用する。

## 3つのステップで戦略的に「指導改善」

×数値の高い・低いだけに着目するのではなくて...

### 1 自校の「目指す姿」からデータを選ぶ

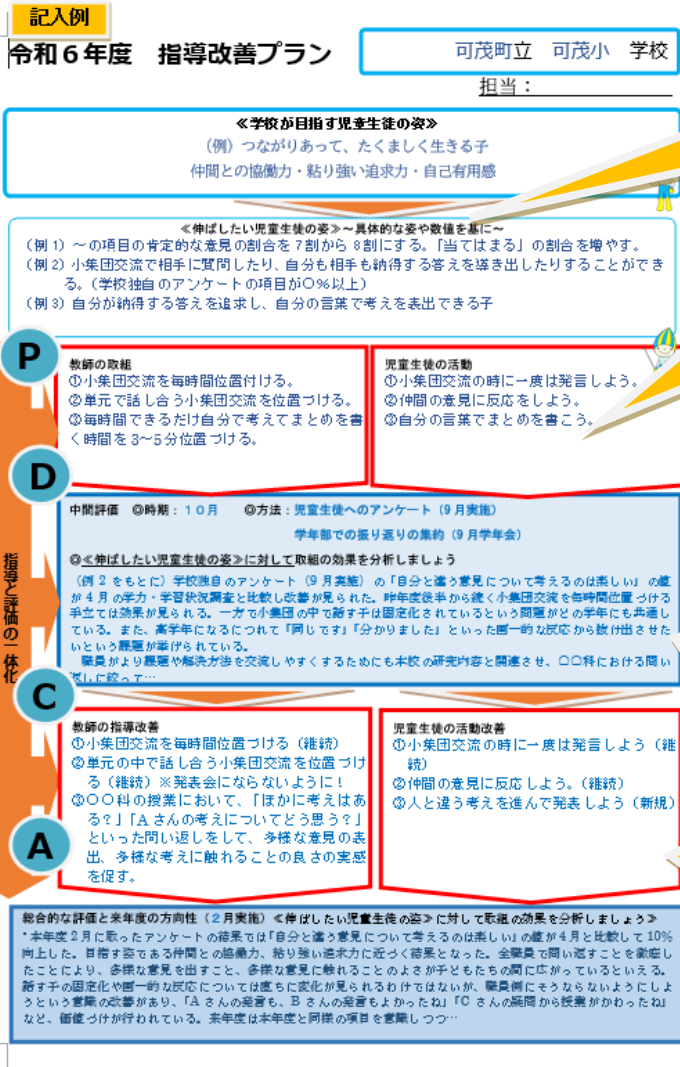
×1つのデータのみで全体を考えるのは無理なので...

### 2 複数のデータを組み合わせる

×「結局何をしたらいいかわからない」ではもったいない！

### 3 具体的な学校教育活動の場面と結びつける

# 全教員で具体的方途を共有し、実践する。



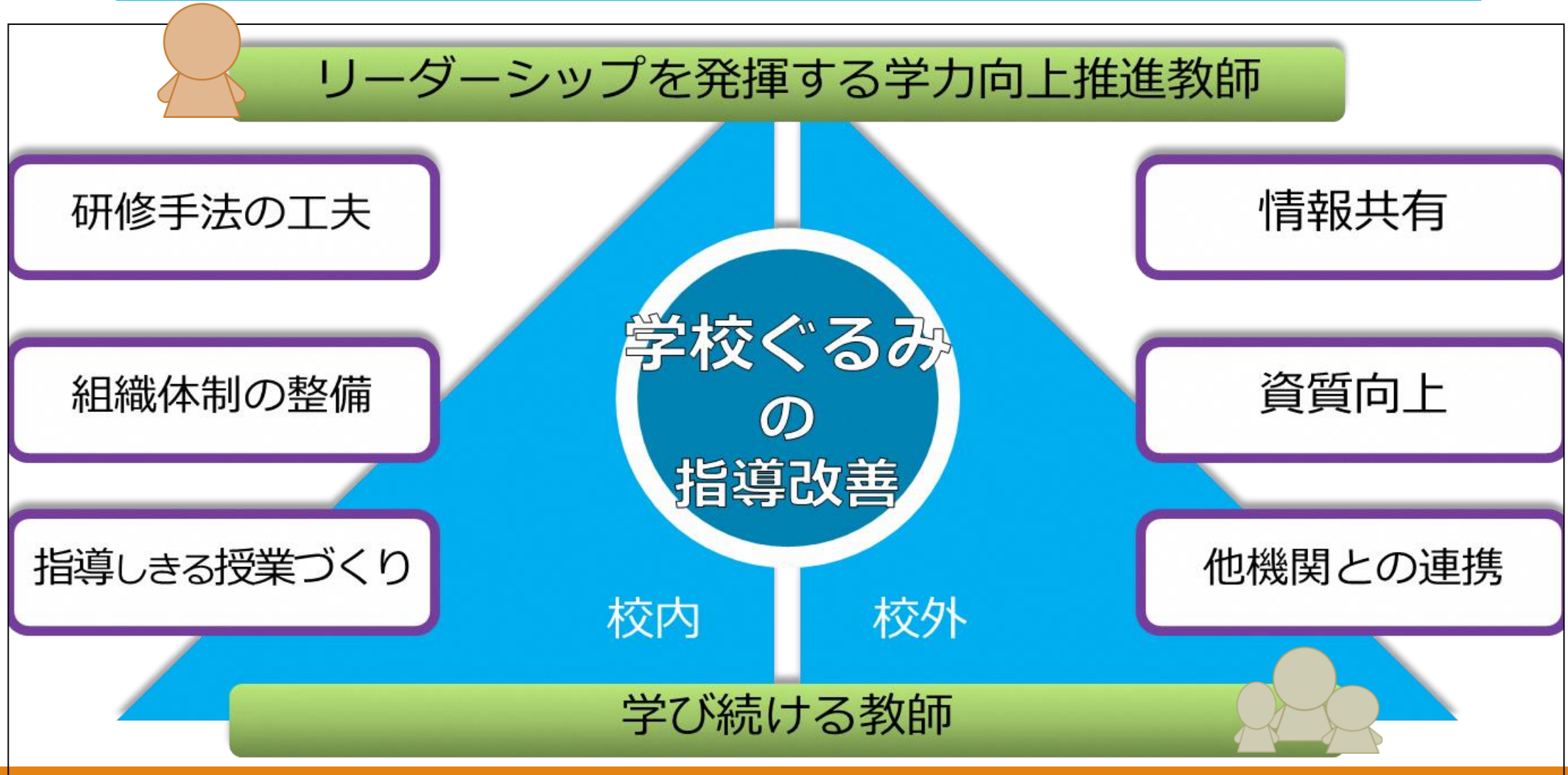
学校の教育目標や研究主題をもとに「伸ばしたい児童生徒の姿」を明確化

《伸ばしたい児童生徒の姿》に対して、どのような方途を取るか、計画を立て、実践します。

中間評価の期日、方法をあらかじめ設定しておきましょう。それをもとに、効果を分析します。先生方の実感、子どもの姿、客観的な数値を合わせて振り返り、指導改善につなげていきます。

《伸ばしたい児童生徒の姿》に対する改善を考える。  
 「全教員で共有し、取り組める方途」を考える。

# 全教員で**具体的方途を共有**し、実践する。



国語に限らず、  
他教科、他領域の場面でも置き換えてみましょう。

国語

# 指導改善ポイントⅠ

もやっと



自分の考えをまとめる場面で、分かったことやあ  
らすじなどの本文の内容ばかりになってしまう。  
**自分の考えをまとめることができるよ  
うになるには、どんな指導が大切かな？**

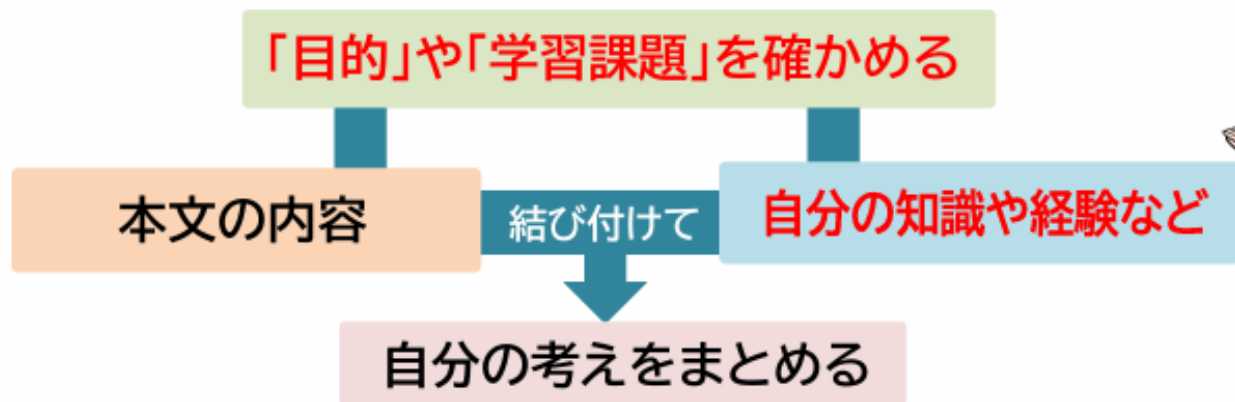
指導改善資料p1



自分の考えをまとめる際には、

- 「目的」や「学習課題」などを確かめる
- 本文の内容を自分の知識や経験などと結び付ける

例 指導事項「考えの形成」の力を身に付ける



「読むこと」に限らず、「書くこと」「話すこと・聞くこと」であっても、目の前の事実や自分の知識や経験などと結びつけて自分の考えをまとめる指導が大切です。

「事実と感想，意見とを区別して書いたりするには，事実を客観的に書くこととともに，**その事実と感想や意見との関係を十分捉えて書くことが重要**である。それは，自分の考えたことなどが客観的な事象に裏付けられたものになっているかどうかを振り返り，自分の考えをより深めていくことにつながるからである。」

(小学校学習指導要領(平成29年告示)解説国語編p142)

指導改善資料p1



こんな指導に改善しよう！  
「目的」、「学習課題」を確かめ、本文の内容を資料と結び付けます。

どんなことを大切に、自分の考えをまとめますか。

伝えたいことがより伝わるように、資料とつないで…。

では、筆者の考えや説明の工夫について、自分が伝えたい考えがより伝わるように、自分の伝えたい手がかりになった本文の内容と、その内容を説明している資料をつないで、自分の考えをまとめましょう。

筆者の考えと書ける内容と資料を結び付けることで、筆者の考えが伝わりやすくなっているという効果にもつなげることができます。

| 自分の意見                            | 筆者の考え   | 資料  | 内容  |
|----------------------------------|---|---|---|
| そのために、自分でできることは何かを考えて生活していきたいです。 | 筆者の主張にあるように、すでに絶滅したほ乳類のように二度と会うことができない動物を出さないために、私は固有種の生きられる自然環境を大切にしていきたいです。 | ⑧段落にある資料5で、ホンオオカミの姿をイラスト以外で初めて見ることができました。 | 筆者の使った資料1や③段落の内容から、大陸に近いところにあるイギリスと比較して、日本の固有種がどれくらい多いのかが分かりました。また⑧段落にある資料5で、ホンオオカミの姿をイラスト以外で初めて見ることができました。 |

こんな指導に改善しよう！  
「目的」、「学習課題」を確かめ、理由や経験と結び付けます。

何のために、「せつめい名人のわざ」を使いますか。

「分かりやすい説明書にするためです。」

そのために、どんな「せつめい名人のわざ」を使ってみたいですか。「どうしてか」というわけと、これまでに説明書を使った時のことを思い出して、使ってみたい「せつめい名人のわざ」について自分の考えを書きましょう。

| 経験  | わけ  | わざ  |
|---|---|---|
| その時みたいに、このせつめい書を読みながら、友達といっしょにおもちやを作ったら、あそぶ時にもっと楽しくなると思うからです。 | どうしてかという点、この前の生活科の時間に、一年生がしやしん入りのせつめい書を使いながら、楽しそうにどんぐりこまを作っていたことを思い出したからです。 | 私は、まとまりをはっきりさせ、文に合ったしやしんを入れて、みんなに分かりやすいせつめい書を作りたいと思います。 |

こんな指導に改善しよう！  
「目的」、「学習課題」を確かめ、自分の知識や経験などと結び付けます。

私たちにできることをまとめるのは、なぜですか？

地球の環境問題が深刻で、このままでは地球の未来が危ないからです。

筆者の主張について、自分が伝えたい考えがより伝わるように、自分の知識や経験などと結び付けて、自分の考えを書きましょう。

| 自分の意見   | 知識や経験 |
|---|-------|
| 私は、森林資源を使った身近な紙と無駄遣いしないようにすることが、すぐできることだと考える。理科や社会の授業で、木を原料にして、紙は作られていると学習した。今ではICTが普及し、よりペーパーレスになっている気がするが、学校では、まだまだ紙が多用されている。この状況から裏面や余った紙を再利用したりすることが簡単に効率よく長期にわたってできることだと考える。 |       |

「わかったことを書きましょう」  
「まとめましょう」  
「感想を書きましょう」という教師の指示は、それぞれ意図していることが違います。  
また、何を、どのように、何とつなげて、何のために（何がわかるように）書くのか、その指示を明確にすることが教師の指導です。

# ここの教師の一工夫！

指導改善資料p2～4

国語に限らず、  
他教科、他領域の場面でも置き換えてみましょう。

国語

## 指導改善ポイントⅡ

もやっと



順序を捉える、比喩表現などの表現の技法、意見と根拠をつなぐ、主語と述語の関係、語彙、漢字…など  
一度学習したはずの「知識及び技能」が定着していかないなあ。

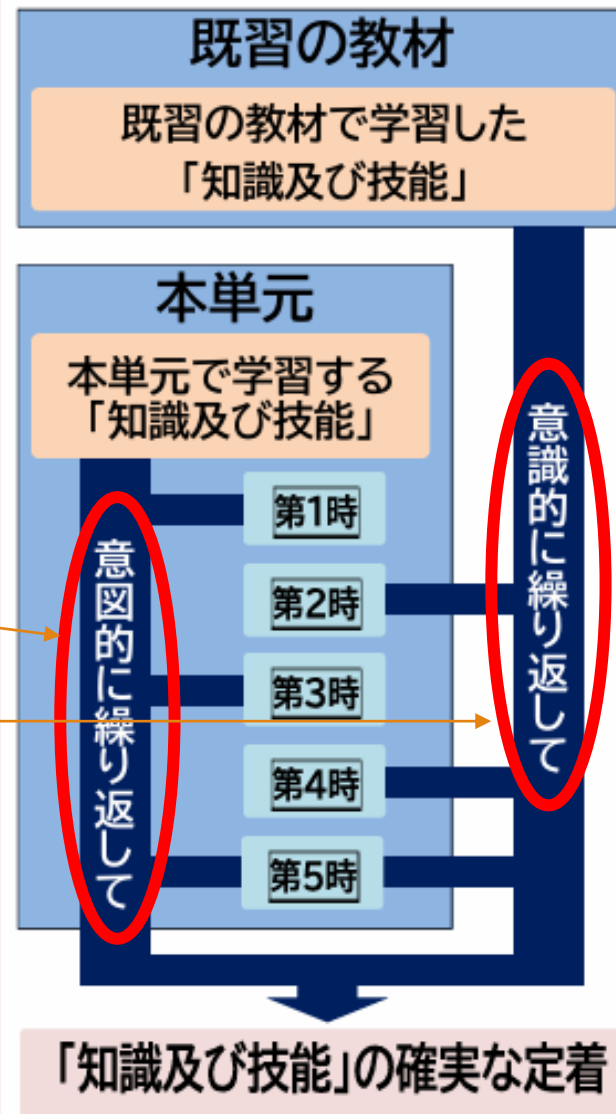
指導改善資料p5

# 「知識及び技能」は、意図的に繰り返し指導します。

本単元で指導すべき「知識・技能」を指導する時間を確実に位置付けます。まとまった時間をとればそれでよい、ということではなく、繰り返し、繰り返し**意図的に指導**することが大切です。

本単元にとどまらず、**意識的に**これまでの学習を思いだして活用するような場面を生み出しましょう。

## 指導改善資料p5



既習の教材で学習した「知識及び技能」や本単元で学習する「知識及び技能」を**本単元の単位時間の中で、意図的に繰り返し指導**することで、確実な定着を図ります。



|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 学年・領域 | 第6学年 読むこと・書くこと            |
| 教材名   | 『鳥獣戯画』を読む<br>発見、日本文化のみりよく |
| 実施時期  | 11月頃                      |

「知識及び技能」を意図的に  
繰り返し指導します。

すっきり

既習の「知識及び技能」 第6学年「やまなし」「詩から表現の工夫を学ぶ」

■色やたとえの表現

比 喩

反 復

擬声語・擬態語

【学習活動】

1 単元の目標を確認し、前時の学習内容を振り返る。

2 本時の課題と課題達成の姿を確認する。

選んだものの良さが読む人によく伝わるように文章を工夫して書こう。

3 『鳥獣戯画』を讀むで使われた表現の工夫を思い出す。

「やまなし」や「詩の学習」で学習した「表現の技法」を、「『鳥獣戯画』を読む」「発見、日本文化のみりよく」の学習の中で指導する。

今までの「詩の学習」では、「比喩」や「反復」などの表現の工夫を学習してきましたね。今回学習した「『鳥獣戯画』を読む」では、読み手に絵巻物のよさを伝えるために、筆者はどんな表現の工夫をしていましたか？



「比喩」で何か別のものに例えたり、一文を短くしてテンポよく読めるように工夫したりしていました。

「やまなし」でも、「色やたとえの表現」が使われていました。今、書いている文章にも、同じような工夫が使えるところはないか、一度読み直してみましよう。自分で読めたら、グループの仲間と工夫できるところをアドバイスし合いました。

この教師の工夫！



(例) 第6学年『鳥獣戯画を読む』／「発見、日本文化のみりよく」

# 言葉の特徴や使い方

# 考えの形成



「思考力・判断力・表現力等」の指導事項との関連を図る

# 算数・数学 指導改善ポイント I

もやっと

式と答えは書くけれど、なかなか自分の考えが表現できないなあ。

## ① 4つの視点から発問しましょう。

ポイント

根拠

- ・どうしてそう考えようと思ったの？
- ・どうしてそう考えられるの？

解釈

- ・図(式)でいうとどうということなの？
- ・～さんの考えを、自分でも説明できる？

統合

- ・ようするにどのように考えるの？
- ・以前学習したことと比べてどうですか？

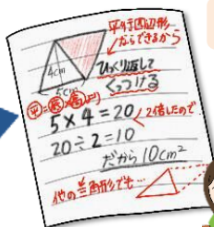
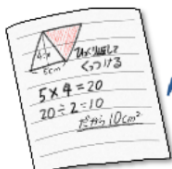
発展

- ・他の方法でも考えることはできない？
- ・数値や条件を変えても同じようにできる？

## ② 考えを「書く・振り返る」指導をしましょう。

考えを書くように指導する。

まずは「考えたこと」を考えたとおりに書くことから。書くことで振り返ることができる。



4つの視点から振り返るよう指導する。

理由が曖昧だったところはなかったかな？

「他の図形でもいえるのか」と考えを広げていけたかな？

→違ったところを修正 足りないところを付け足す

理由が足りなかったなあ。次は、他の図形でも考えていこう！

「振り返る」ことで、よりよい考え(表現)にしようとする態度が育ちます。

# 算数・数学 指導改善ポイント II

もやっと

自分でやってみる時間を十分確保したいのに、時間が足りなくなるときがあります。

ポイント

## ねらいに応じて授業の展開を工夫しましょう。

展開例①

新しい知識や技能を学ぶとき

これまでの表し方では、表現できない…

→新たな知識・技能を教える

○○を使ってやってみよう。

+

表す意味は？  
使い方は？  
どんなときに使える？  
自分でやってみる

必要感や意味を理解できるように一方的にならないように教える。

展開例②

「前と同じように」できるとき

同じように考えてできる？

→できそうだ。

○○も、■■と同じように考えてできるだろうか？

→できた！○○も…

+

他にも同じようにできるか、自分でやってみる

既習を生かして導入を短縮し、追究する時間を確保する。

展開例③

「～のしかた」を考えると

同じように考えてできる？

→できない。○○が違う。

○○のような、■■のしかたを説明しよう。

考えづくり

考え① 考え② 考え③

ようするに…

+

似たような場面で、自分で説明してみる

考えが行き詰まった時は、教科書で調べたり、教師が提示したりする。

授業の流れ

## 「自分でやってみる」時間が多くなるからこそ！

自分で学び進める力を育てましょう。 一人一人を見届け、指導しましょう。

「分からない」と思ったときの学び方



「分かった」と思ったときの学び方



見届け、個に応じるためにICTの機能を活用しましょう。



# 算数 数学



可茂教育事務所

教育支援課 小野木 学

# 小学校 の 課題

- 「図形」や「変化の関係」に関する設問
- 「数量や図形」に関する、知識・技能
- 論理的に考えて説明すること
- 判断や考えの正しさを説明すること

## 【要因】

概念や性質の理解に基づいた知識及び技能の指導が十分にできていないこと。また、根拠を明確にして表現する指導が十分にできていないこと。等



# 算数 1 (1)



(1) ゆうさんは、折り紙を72枚<sup>まい</sup>持っています。

ゆうさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より28枚少ないです。

こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア  $72 + 28$  57.8 %

イ  $72 - 28$  35.3 %

ウ  $72 \times 28$

エ  $72 \div 28$

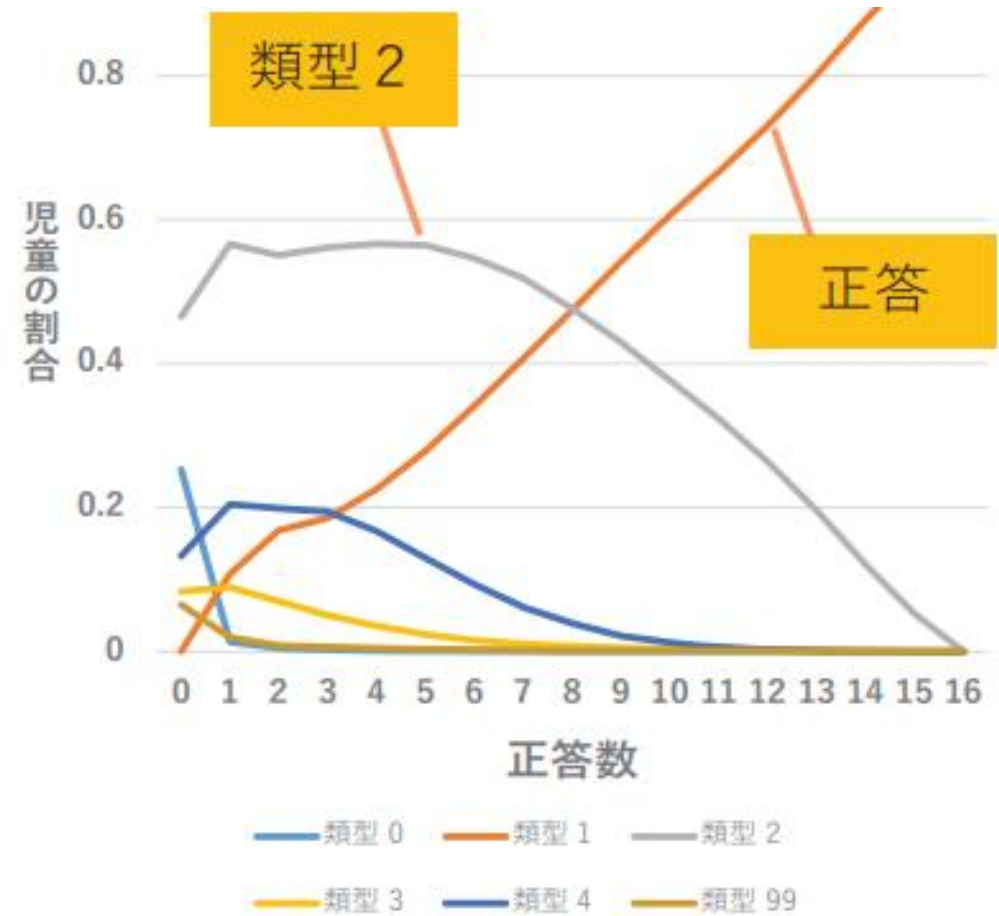
解答類型2  
「少ない」という言葉からイ ( $72 - 28$ ) を選択

こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア  $72 + 28$
- イ  $72 - 28$
- ウ  $72 \times 28$
- エ  $72 \div 28$

### 解答類型 2

「少ない」という言葉からイ ( $72 - 28$ ) を選択



◆ 正答数の低い層から中間層だけでなく、正答数の比較的高い層でも、数量の関係を捉え式に表すことができていない。

# 概念や性質の理解に基づいた知識及び技能

思考を  
深めるための

# 4つの視点

## ① 4つの視点から発問しましょう。

### 根拠

- ・どうしてそう考えようと思ったの？
- ・どうしてそう考えられるの？

### 解釈

- ・図(式)でいうとどういふことなの？
- ・～さんの考えを、自分でも説明できる？

### 統合

- ・ようするにどのように考えるの？
- ・以前学習したことと比べてどうですか？

### 発展

- ・他の方法でも考えることはできない？
- ・数値や条件を変えても同じようにできる？



# 中学校 の 課題

- 数量や図形にかかわる事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること
- 根拠に基づいて筋道を立てて記述すること

## 【要因】

根拠を明確にして表現する指導が十分にできていなかったり、自分の考えを見直して不十分な点を振り返る指導が十分に行われていなかったりすること。等

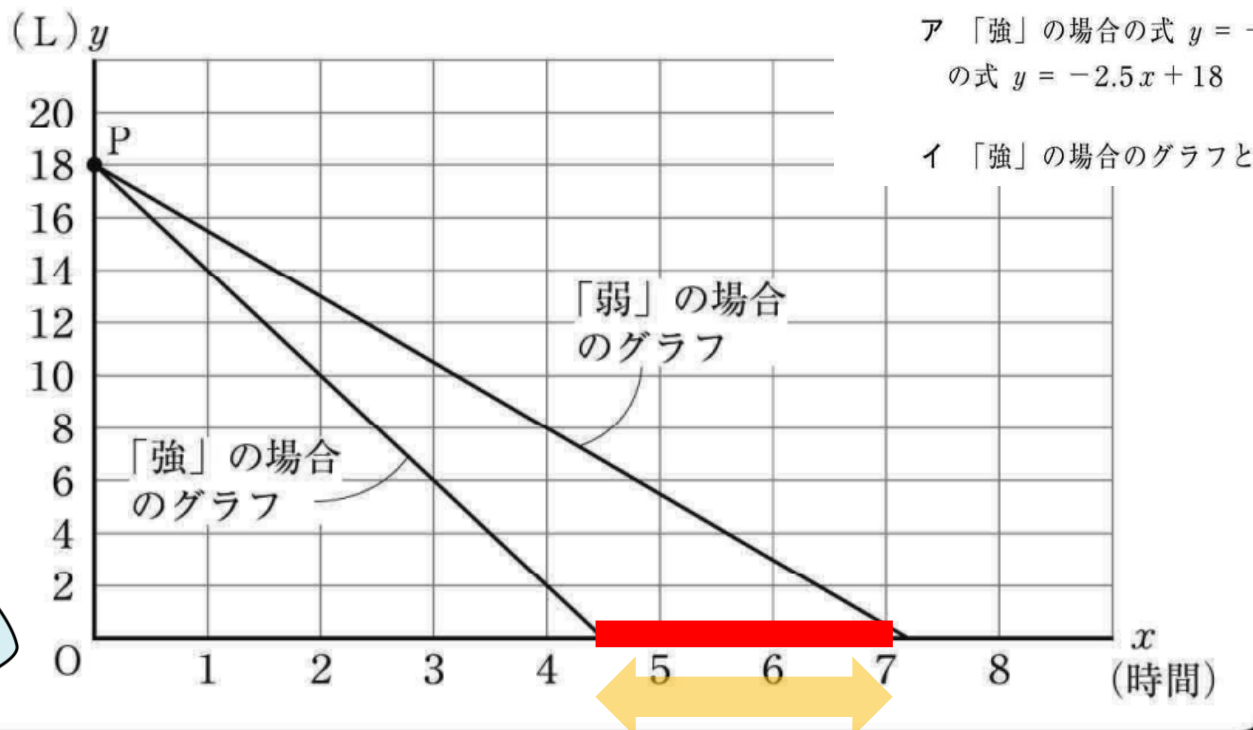
# 数学 8 (2)



## ストーブの使用時間と灯油の残量

「強」の場合の式  $y = -4x + 18$

「弱」の場合の式  $y = -2.5x + 18$



(2) 前ページのストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから18 Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何時間かを求める必要はありません。

ア 「強」の場合の式  $y = -4x + 18$  と「弱」の場合の式  $y = -2.5x + 18$

イ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ

## どのように表現するか

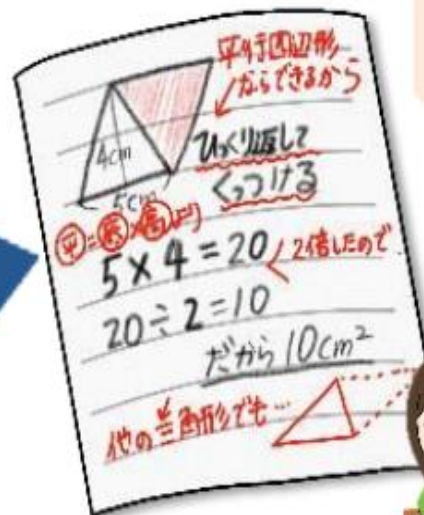
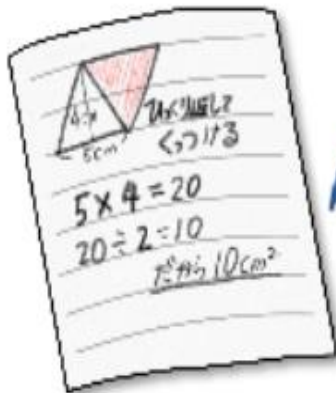


# 自分の考えを 書く 振り返る

## ② 考えを「書く・振り返る」指導をしましょう。

考えを書く  
ように指導する。

まずは「考えたこと」を  
考えたとおりに書くことから。  
書くことで振り返ることができる。



4つの視点から振り返る  
よう指導する。

理由が曖昧だったところは  
なかったかな？

「他の図形でもいえるのか」と  
考えを広げていけたかな？

→違ったところを修正  
足りないところを付け足す

理由が足りなかったなあ。  
次は、他の図形でも考え  
ていこう！

「振り返る」ことで、よりよい考え(表現)にしようとする態度が育ちます。

# 授業展開 の 工夫

ねらいに応じて授業の展開を工夫しましょう。

## 展開例①

新しい知識や技能を  
学ぶとき

これまでの表し方では、表現  
できない…  
→新たな知識・技能を教えて

〇〇を使ってやってみよう。



表す意味は？  
使い方は？  
どんなときに使える？  
自分でやってみる

【注】

必要感や意味を理解で  
きるよう一方的になら  
ないように教える。

## 展開例②

「前と同じように」  
できるとき

同じように考えてできる？  
→できそうだ。

〇〇も、■■と同じように  
考えてできるだろうか？

→できた！〇〇も…



他でも同じようにでき  
るか、  
自分でやってみる

【注】

既習を生かして導入を  
短縮し、追究する時間  
を確保する。

## 展開例③

「～のしかた」を考え  
るとき

同じように考えてできる？  
→できない。〇〇が違う。

〇〇のような、  
■■のしかたを説明しよう。

考えづくり

考え① 考え② 考え③

ようするに……



似たような場面で、  
自分で説明してみる

【注】

考えが行き詰まった時  
は、教科書で調べたり、  
教師が提示したりする。

授業の流れ



(小学校)

NEW!  
GIFU  
ウェブ  
ラーニング

算数・数学の指導改善

# NEW!GIFU ウェブラーニング で 授業が変わる!

毎時間ごとに問題が  
用意されています

## 「きょうのもんだい」

授業の終末に  
確かめ問題として  
取り組むことができます!

結果は自動集計!!  
県の正答率と比較  
リアルタイムで状況を  
把握できます。



どんな問題が出題されるか  
あらかじめ知っておきたい...

よさそう  
だけど...



見やすいように一覧にして  
冊子にしてみました!

教科書のページが入っているので、探しやすいです



| 学年  | 問題番号            | 問題数  | 備考   |
|-----|-----------------|------|------|
| 1ねん | 目次からはじめる        |      |      |
| 2年  | 1・2時間目 P116~118 | あと5問 | あと4問 |
| 3年  | 3・4時間目 P119~121 | あと5問 | あと4問 |
| 4年  | 5時間目 P122       | あと5問 | あと4問 |

あらかじめ問題を把握しやすくなったことで、

- ・安心して問題に取り組ませられる。
- ・「この問題だけ取り組ませたい」が可能。
- ・終末の児童の姿をイメージして

授業展開を考えるようになった。

などの声をいただいています。

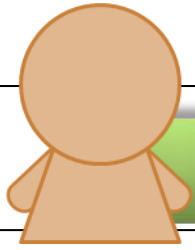
今年度より、問題を指定して  
取り組むことができるように  
なりました。



冊子ダウンロードはこちらへ→  
パスワードは「kamo443」



授業終末の児童の姿を 問題を通して考えてみませんか



## リーダーシップを発揮する学力向上推進教師

### (1) 校内において

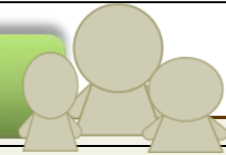
- ① **全国学調等の結果分析の指揮**
  - ・分析ファイルを使った学年会や教科部会の位置付け等
- ② **調査結果分析に基づいた全職員の学校課題の共有化**
  - ・分析ファイルを使った職員研修の実施等
- ③ **課題解決のための具体的な取組案の作成と提案**
  - ・指導改善の具体的な内容と指導改善サイクルの確立
- ④ **指導改善サイクルの進行管理**
  - ・検証の方法や時期、内容の明確化
  - ・研修結果のフィードバック、取組の評価と改善案の作成と提案

### (2) 校外において

- ① **可茂地区学力向上推進会議への参加**
  - ・指導・助言の内容を自校へ反映
  - ・校内で検討会議を設定
  - ・全教職員に周知・徹底
- ② **情報交流**
  - ・同一中学校区
  - ・市町村(組合)、可茂管内の学校



## リーダーシップを発揮する学力向上推進教師

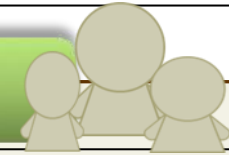


- 結果分析を行う。（教科や質問紙など、学力向上推進教師が中心になって分担して、チームで分析して。全職員で。）
- 調査問題を職員全員で解く。
- 「質問紙調査」の結果から、普段の授業を「児童生徒がどう受け止めているか」を把握する。そこから、「どのような指導が弱いのか」をとらえ、教師の「指導の課題」を明らかにする。
- 誤答を分析した上で、授業の「どこ」でどのような指導が必要か、「何年生のどの学習場面で」というレベルまで具体的に示す（指導計画に反映させる）。

## 学び続ける教師



## リーダーシップを発揮する学力向上推進教師



- 定期的に授業に関するアンケート調査を行い、その変容から指導改善の成果を測る。
- 「質問紙調査」を（学力調査対象学年だけでなく）全学年で行う。
- 定例の会議の中に、学力向上について協議する場等を設ける。
- 週報に伝えたいことを入れ、事前に手を打てるようにする。

学び続ける教師